

選考委員のコメント

○小・中学生ではできない、「本物」を扱った商業高校の特徴を最大限に生かした取組である。実際に著作物を活用する場合に直面する様々な課題を、どのように解決していったのかが示されており、興味深い。他方、教員としてどのように指導したのかといった部分にもう少し説明を加えてほしかったと思う。

○商業高校という特性と下町（地域）という特性をよく生かした実践である。地域が協力し易いテーマ設定をしたことによって、より具体的な調査結果を得られた大変良い取り組みと感じる。

○商業科の特色を活かし、実際にビジネスで活用する仕組みを理解するところまで扱っていることは高く評価できる。また、地元をテーマとして扱うことで、体験的・実践的な学習となっている点が素晴らしい。

○ビジネスの側面から制作活動を通じて著作権を考察する総合的な実践となった。今後は商業科の特性を生かし、意匠、商標、パブリシティ権と区別しながら著作権を扱うことが期待されるところである。

○少しむずかしいが、オリジナルのキャラクターを使用し、高校生ならでは良いと思う。他方、内容にストーリー性を感じるが、容量が多すぎて他の人が実践できるか不安な点はある。

○取材、商品開発、著作物作成、著作物利用契約などを通して、著作権を実践的に取り扱っているいい実践である。さすが高校生！とうならせる、生徒のすばらしい研究報告書に圧倒された。また、「5分でできる著作権教育」を十分に活用している。

○オリジナルキャラクター作成やビジネスコミュニケーションの実践が大変興味深い。

○タイトルが斬新的で読み手を引きつけている。高校生が実社会において実際に学習活動を通して、商品開発、オリジナルキャラクターを作成し、著作物の各種契約を実際に締結するなど、このような経験ができることが今後社会で生きていく上でとても大きなことである。体験を通して著作権を学んでいる点が素晴らしいと思う。

するなど、このような経験ができることが今後社会で生きていく上でとても大きなことである。体験を通して著作権を学んでいる点が素晴らしいと思う。